

かたばた通信

【第28回親と子の写生大会】

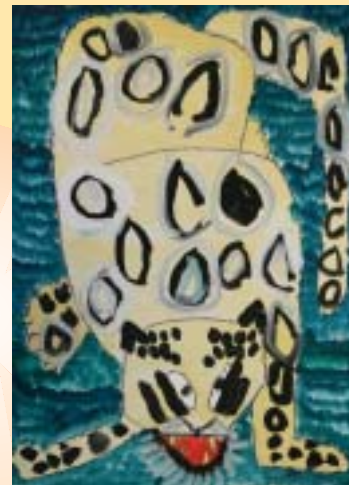
7月26日、台風の接近に伴い、非常に不安定な天候の中で写生大会が行われました。604名の参加者たちは、時折強く降る雨の中で写生や造形に熱心に取り組んでいました。提出作品は例年並みの544点で、レベルの高い作品が集まり審査も難航しました。

市長賞

菅原 明莉さん(すがわらあかり)
中通小学校5年

「仲よし三ひき」

カピバラのもつ雰囲気、体の特徴がたいへんよく表現されていますね。体毛の微妙な色の変化、毛流をしっかりと観察し、時間をかけて丁寧に描いています。カピバラを一頭ではなく三頭描いたことで画面に変化が生まれ、また同時に家族単位で(群れて)行動するカピバラの生態をも表現する結果になっています。仲よし三匹、それぞれの表情、顔の向きの違いが面白いですね。



市議会議長賞

三浦 泰輔くん(みうらたいすけ)新屋幼稚園

「ちやくちだ！ゆきひょうヤッター」

ユキヒョウの雄々しさが、鋭い目、ガッーと開かれた口、踏ん張った足から伝わってきます。画面いっぱいに頭からしっぽまで入れることができました。ユキヒョウの美しい毛皮の模様や雪のような毛並みを見事に表現できました。

【親子サマースクール】

今回は「親子スクール」と題して、7月30日・8月2日の2日間行いました。親子や個人、グループなど57組174名の参加があり、飼育体験や裏側探検などを行いました。

午後には、アニマルアート工作と題し、ペンギンの擬卵やトナカイの角を使ったキーホルダー作りなどを体験し、思い出の一品作りを行いました。



【動物園こどもシンポジウム】

大森山動物園の設置理念や果たすべき役割をより明確にするため、たくさん子どもたちから意見を聞こうと9月4日、こどもシンポジウムを開催しました。当日は市内5つの小中学校などから約200名が参加。父兄や一般の入園者も参加して多いに盛り上がりました。

今回子どもたちから出された意見は、これから制定する大森山動物園の設置条例に生かす予定です。